



伊里前小学校だより 夢・志「伊小っ子」

2025年12月23日

No. 11

TEL 36-2005

FAX 36-2951

学校教育目標：命とふるさとを大切にし、「志」高く生きる児童の育成

目指す子供像：☆自ら学び考える子供 ☆思いやりのある子供 ☆進んで運動する子供
☆協力して働く子供 ☆命とふるさとを大切にする子供

心も体も元気な子供を育成するために 家族みんなで「はやね・はやあき・あさごはん」を実践しましょう!!

本日、2学期終業式 ～安全で楽しい冬休みを～

2学期も今日で終わりを迎えました。厳しい残暑の中で始まった2学期でしたが、12月には雪もちらつき、毎年ながらその長さと季節の移ろいを感じます。今学期は、たつがねっ子まつりに始まり、6年生の修学旅行、学習発表会、3・4年生の音楽祭、持久走記録会など、多くの行事が行われました。学習面でも、地域の皆様に講師にお招きしての活動が充実し、子供たちは多くの学びを得ることができました。保護者の皆様の温かい御支援・御協力により、こうして2学期を無事に終え、終業式を迎えられましたことに、心より感謝申し上げます。



さて、明日から1月7日までの15日間は冬休みとなります。冬休みは、大みそかやお正月など、家族や親戚と過ごす時間が多く、日本の伝統文化に触れる貴重な機会です。子供たちにとって楽しみの多い休みである一方、大掃除を手伝ったり、親戚が集まったときには挨拶をしたりと、社会性を育む大切な期間でもあります。安全に気を付け、心温まる家族との触れ合いに満ちた冬休みとなりますようお祈りしております。1月8日（木）の第3学期始業式には、全員が元気にそろふことを楽しみにしています。

クマの被害に遭わないために！

11月25日、農林水産課の方が来校し、クマと遭遇した際の対処法などを教えてくださいました。12月に入ってもまだクマの目撃情報があります。冬休みも注意して生活してほしいと思います。



まずは、クマと遭遇しないようにすることが大切。朝夕の行動を避ける、クマ鈴を付けるなど。



襲われそうになったら、首や頭、お腹を守ります。足を伸ばすのも可。

1月の主な予定

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------------|--------------------------------|---|---|--|----------------------------|------|
| 5日 | 6日 | 7日 | 8日 | 9日 | 10日 | 11日 |
| 冬季休業日 | 冬季休業日 | 冬季休業日 | 第3学期始業式 ①②13:00 ③～⑥13:55 完 14:00 | SSW来校 ①～③14:25 ④～⑥15:15 完 15:30 | | |
| 12日 | 13日 | 14日 | 15日 | 16日 | 17日 | 18日 |
| 成人の日 | ①②14:25 ③～⑥15:15 完 15:30 | ①13:10 ②～④13:55 ⑤⑥14:45 完 15:00 | ①②13:25 ③～⑥15:15 完 15:30 | 全校4校時限 ①～⑥12:45 完 12:45 | 職員の研修会のため、午前授業（給食あり）になります。 | |
| 19日 | 20日 | 21日 | 22日 | 23日 | 24日 | 25日 |
| | SC 来校 1年親子給食 | | たてわりタイム | SSW来校 | | |
| ①～⑥14:25 完 15:00 | ①②14:25 ③～⑥15:15 完 15:30 | ①13:10 ②③13:55 ④～⑥14:45 完 15:00 | ①②13:25 ③～⑥15:15 完 15:30 | ①～③14:25 ④～⑥15:15 完 15:15 | | |
| 26日 | 27日 | 28日 | 29日 | 30日 | 31日 | 2月1日 |
| ①～⑥14:10 完 14:15 | ①②14:25 ③～⑥15:15 完 15:15 | 委員会活動 ①13:10 ②～④13:55 ⑤⑥14:45 完 15:00 | SC 来校 ①②13:25 ③～⑥15:15 完 15:15 | ①～③14:25 ④～⑥15:15 完 15:15 | | |

※行事予定はやむを得ず変更する場合があります。各学年からのお便りや連絡を通して、その都度御確認ください。
 ※①～⑥は、各学年のおおよその放課時刻です。また「完」は完全下校時刻を表しています。

スマホの向こうにも人間が ～その言葉で伝わる？～



11月18日、6年生を対象に、情報モラル教室を行いました。リスクの考え方や、自分と友達ではリスクに違いがあることなどを学びました。「長時間利用」や、「チャットでけんかになる」など、スマホの利用には様々なリスクが伴います。例えば、LINE等のやりとりは対面よりも感情が伝わりにくく、本人にまったくその気がないのに相手の気分を害してしまうことがあります。もちろん、オンラインゲーム等で他者を煽ったり小馬鹿にしたりするような言動は厳に慎みたいところです。

これから情報社会を生きていく子供たち。スマホやゲーム機の向こうには生身の人間がいることを忘れず、情報技術・機器との付き合い方を考えてほしいと思います。